

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	前立腺癌に対する、開腹前立腺全摘術とロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術の比較検討
研究責任者	泌尿器科 濱田 真輔
本研究の目的・意義	<p>【背景】 前立腺癌に対する手術療法として、前立腺全摘術は確立した治療法である。当院において開腹前立腺全摘術(RRP)は数多く施行してきており、その症例数は3000例以上である。2012年より本邦において、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術(RARP)が保険収載され、現在は前立腺癌に対するスタンダードな術式として認知されてきている。当院においても2024年4月よりRARPを導入し、症例数を重ねてきている。しかし、それぞれの術式に対して適合する症例、患者像はまだ不明確である。</p> <p>【目的】 熊本中央病院における前立腺癌に対する、RRPとRARPの患者背景、治療効果、その予後等の比較検討を行い、それぞれの術式の特徴やそれぞれに適合する症例を明らかにする。</p>
研究予定期間	
該当資料・データ	<p>対象となる患者さま 2022年4月から2025年3月までの間、当院で前立腺癌に対し、RRP、RARPを受けた症例を対象とします。</p> <p>利用する情報: 電子カルテに記載のある診療記録・検査データを利用する。</p>
個人情報の取扱い	<p>診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人情報を識別可能な症状を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、研究機関毎に連結可能匿名化を行います。</p> <p>個人識別情報と付加番号の対応表は研究機関毎に作成し、各機関の個人情報管理者が厳重に管理します。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。</p>
共同研究機関	なし
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:096-370-3111(代表) 担当者:濱田 真輔(泌尿器科)